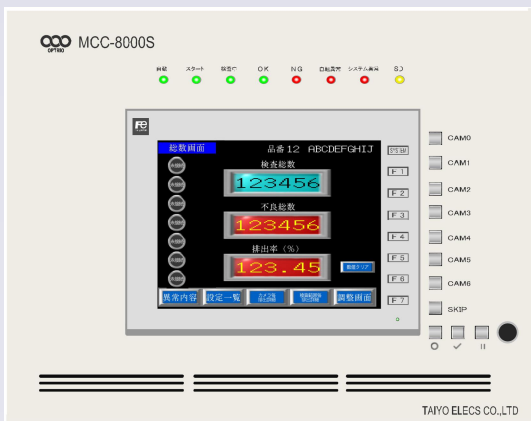


300Frame/sec “3.3msec/Frame”

BoRoS(MCC)-7000S : 120Frame/sec “8.3msec/Frame” 当社現行製品比較 2.5倍

ボトルなど一旦停止、自転させて全周を連続撮像検査するシステムに威力を発揮します

MCC-3000S、7000S そして 8000S と受け継がれたシンプルな操作性はそのまま



- カメラ接続台数、検査範囲の設定数に関係なく max3.3ms/1 フレーム処理
- カメラ取込フレーム数、シャッター速度、GAIN の設定調整可能
- VGA モノクロカメラを最大 6 台接続可能 (カメラ 2 台/スロット×3 ボード)
- カメラ 1 台に検査範囲最大 10ヶ所独立調整が可能 [優先順位理論、重ね書き選択可能]
- 差分フィルタ処理 (6 系統切替)、ビデオレベル白・黒 (選択) 処理及び、面積判定
- カメラ毎の不良数、排出率表示更に各カメラの検査範囲毎の不良発生数を表示
- ビデオメモリ機能内蔵 (スルー、NG フリーズ/更新表示モード切替可能)
- オンライン中に任意のカメラを同時並行でシミュレーション検査できる機能
- 品番登録最大 31 品番 (外部切替信号入力)、パスワード機能 (1 系統)



カメラ毎に SD カード(32G 付)スロットを備えており、欠陥画像[BMP]を自動保存(手動で任意の画像を保存可能)させることが可能です。

- * BMP 容量は約 700KB/枚で検査範囲、検出レベル情報も含まれます
- * SD カード内満杯時は新しいものが上書きされ古いものから消されます
- * 連続して発生する欠陥画像の場合は取り逃す可能性があります

ビデオメモリ機能とは

カメラ毎に約 1,000 枚の検査画像を随時メモリに保存していきます。手動で停止、または欠陥発生画面で自動停止して、ダイヤル操作で前後の画像をコマ送りで確認できます。何を検出したのか、誤動作していないか、オーバーラップしているかなどオフライン中はもちろん、オンライン中でも簡単に検証確認ができる機能です。

NAS構築でロギング対応

オプションの※1 画像圧縮通信ボードを増設することで、全検査画像をハードディスクに保存することが可能です。万が一の欠陥流出に備え、Traceability に於けるトレースバックにも速やかに対応ができ、製品品質の向上・安定・信頼につながるシステムを提供します

※1 約 16KB/枚 [Jpeg2] に圧縮して NAS_HDD に転送します。

※2 HDD 台数/容量は接続カメラ台数、処理本数、画像枚数、保存期間により異なります。NAS-HDD_LAN2 から先は貴社側でご準備ください。

～ ※2 NAS 構築例 ～

